

スタンダード参観 4年2組 4年3組 授業訪問

4年2組では社会科「水はどこから」の学習に取り組まれていました。本題に入る前に5分間「特産物かるた」で活動し、リラックスして授業に臨ませることで、子どもたちもよい雰囲気で見聞感を切り替えて学習に臨んでいたようです。

めあての設定段階では、前時の学びをテンポよく振り返った後、プレゼンを使いながら、「私たちの学校にはどのように水がきているのかな」という学習問題へとうまくつなげられていました。

また、自力での問題解決場面では、さっとタブレットを準備して、クラスルームから用意された動画を視聴して、調べ学習に取り組み、分かったことをペアや全体交流を通して、学び合っていました。この時の教師の声掛けとして「間違えても全然いいよ」「いろんな考え方を教えてほしいな」といったものがありましたが、これが一人ひとりを大切にした授業づくり、学び合いの質を高めているのだと感じました。とにかく学習のテンポがよく、子どもたちも次は何か出るのかと、ワクワクしながら集中して学んでいました。（無駄話をする暇がない）



学習前にみんなでかるた！



よく考えたね！しっかり評価するよ！➡自信・意欲

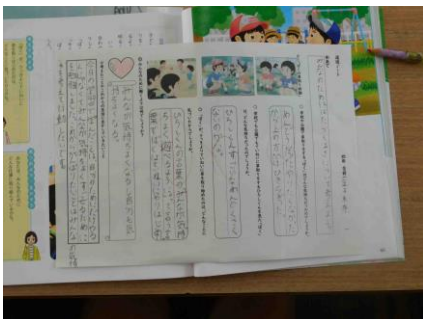


タブレットで自力解決！

4年3組では道徳科で「はたらくことのよさ」について学習されていました。学習初めの挨拶や号令は、気持ちの切り替えをきちんとしてからできていました。また、道徳の時間は皆さんされていると思いますが、学習の流れ（子どもたちの思考の流れ）に沿った板書と連動した学習プリントが丁寧に準備されていました。

3組もやはり、電子黒板に自分たちの実態調査アンケートの結果を提示して、本時追究すべき学習内容をしっかりと全員にもたせてからめあての設定を行った為、最後までブレずに「働くことのよさ」についての学びを進めることができていました。

自分なりの考えを伝え合う場面では、横・縦・遠くの友達と様々な交流形態で、色々な友達と交流することができていました。また、全体交流の際も目と耳と体（心）をしっかりと発言者に向けて反応しながら聴くことができていました。一人ひとりが自己存在感を味わうことのできる時間が確保されていました。



自分の考えをしっかりと書き込める学習プリント



「はい」まっすぐに伸びた腕がきれいでした



なるほど、〇〇さんはそう考えたんだね！